

## Press Release

2018.9.22

### 平山昌尚 個展

#### 「カード」

2018年10月6日(土) - 11月4日(日)

オープニングレセプション: 10月6日(土) 18:00-20:00

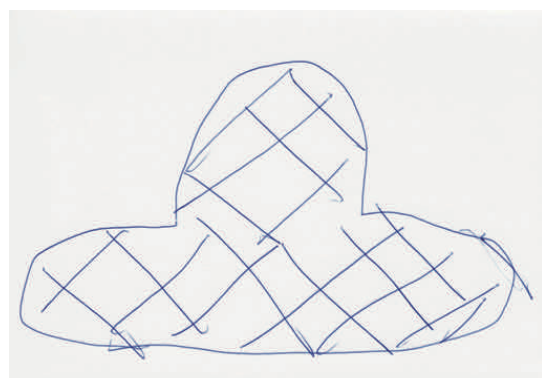
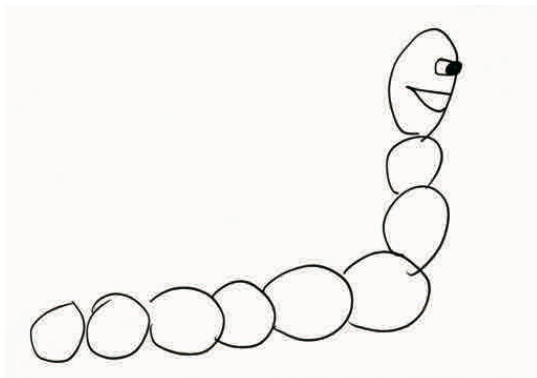
タリオンギャラリーにて、平山昌尚による個展「カード | Card」を開催いたします。  
是非ともご覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平山昌尚は、画用紙にボールペンとマーカーなどきわめて身近な画材だけを用いて、ときにはプレゼントで貰ったペンやあり合わせの絵の具も使いながら、記号的なおかしみと仕掛けに満ちたドローイングを継続的に制作しています。これまでに多数のアートブックを出版し、近年ではチューリヒや台北で個展を開催するなど、国内外で展覧会を開催しています。平山のあらゆる作品、インスタレーションや展示にはすべて通し番号が付され、その数は2018年9月時点で「7889」となっています。

平山のミニマルな筆致によって描かれる多くのドローイングは、とりとめのない戯れのような親しみを感じさせる一方で、対象やモチーフを身も蓋もない視点から純化して表象的骨格を浮かび上がらせる、機械的なマニピレーションのようにも見えます。そこに何が描かれているのかが分かるという記号性と、微小な線の揺れやモメンタムが感傷やユーモアを帯びる図像性が折り重なった独特な作品は、平山のシンプルかつ反復的な手法とアプローチによってはじめて可能となるものです。このアプローチの中心に穿たれた無意味さの穴ぼこは、作品の意味やコンセプトといった瓦礫の山を投げ入れるのに充分なだけでなく、ユーモアや道化、謎かけやゲームが次々と飛び出てくるトンネルでもあります。

タリオンギャラリーでの二回目の個展となる本展覧会では、平山が描いたドローイング・カードの中から、選び出された4枚の絵が拡張されて壁画となり、展示会場の四方に現れます。「これは空間を速く仕上げるゲームでもあります。」と平山自身が述べるように、展覧会の構成そのものがゲームとなって観客を取り囲みます。

また、この度の平山昌尚の個展、11月に開催の二艘木洋行の個展を期して、両アーティストの近年の問題作を収録したカタログが発売されます。是非ご期待ください。



平山昌尚 Masanao Hirayama

1976年兵庫県生まれ。東京都在住。

主な個展に、「間違い探し」CAGE GALLERY (2017/東京)、「Book Show」Utrecht (2017/東京)、「Book Show」Nieves (2017/チューリヒ)、「CASINO & BAR」NADiff a/p/a/r/t (2016/東京)、「Game」Shimokitazawa Generations (2016/台北)、「ゲーム」TALION GALLERY (2016/東京)。

主なグループ展に、「#12 Post Formalist Painting」statements (2017/東京)、「恋せよ乙女!パープルーム大学と梅津庸一の構想画」ワタリウム美術館 (2017/東京)、「Sylvanian Families Biennale 2017」XYZ collective (2017/東京)、「よい子わるい子ふつうの子(あるいはヤンキー、モンキー、ドンキー?)」TALION GALLERY (2016/東京)、「立体会議 2015 (哀愁のセレナーデ 心を立体にする)」アートラボはしもと (2015/神奈川)、「パープルーム大学 II」熊本市立現代美術館 (2015/熊本)。



平山昌尚 | [上] 6590, [中] 7115, [下] 7021 | statements での展示風景 | 2017



平山昌尚 | Ecole Nationale Supérieure d'Architecture Montpellier, Montpellier での展示風景 | 2017

[ 平山昌尚×二艘木洋行 作品集『ニューホライゾン | NEW HORIZON』 ]

発行:タリオンギャラリー

仕様:A4判、日英バイリンガル

定価:2,000 円(税別)

発売日:2018年10月6日(土)

ISBN978-4-9909435-1-6 C0070

-

論考:副田一穂、中尾拓哉

デザイン:刈谷悠三+角田奈央/neucitora

-

「何も無いところに、何かを描き入れる。描いてから思いつくか、思いついてから描くか。そこには無作為な位置関係としてのポジションと、構成された位置関係としてのコンポジションが連続している。」

中尾拓哉(美術評論家)『Scribbles—棒人間の地平』より

「平山は太さが一定で線に肥瘦を生まないフェルトペンと定規を用いて、ひとつひとつの描線が持つ絵画内容に関与的な諸情報を可能なかぎり減少させようと試みている。」

副田一穂(愛知県美術館学芸員)『不自由なお絵かき』より

-

平山昌尚と二艘木洋行の連続個展を期して刊行。この二人の類まれな「絵描き」の特質を浮かび上がらせるコンピレーション・ブック。



—

本展覧会に関しまして貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸いです。掲載用写真の貸出、ご質問などございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

[ 展覧会概要 ]

|        |  |
|--------|--|
| 展覧会名   | カード   Card   |
| アーティスト | 平山昌尚   |
| 会期     | 2018年10月6日(土) - 11月4日(日) 11:00 - 19:00<br>定休日:月・火・祝日 |
| 会場     | TALION GALLERY 東京都豊島区目白2-2-1 B1                      |
| 企画     | 上田剛史   |

[ 平山昌尚 × 二艘木洋行 作品集「ニューホライゾン | NEW HORIZON」 ] \*2018年10月6日発売  
2018年10月より、平山昌尚と二艘木洋行の連続個展を期して刊行。  
この二人の類まれな「絵描き」の特質を浮かび上がらせるコンピレーション・ブック。

—

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 発行   | タリオンギャラリー             |
| 仕様   | A4判、日英バイリンガル          |
| 論考   | 副田一穂、中尾拓哉             |
| デザイン | 刈谷悠三+角田奈央 / neucitora |

[ お問い合わせ ]

TALION GALLERY 広報担当

Email: [info@taliongallery.com](mailto:info@taliongallery.com) Tel/Fax: 03-5927-9858

171-0037 東京都豊島区目白2-2-1 B1 URL: [www.taliongallery.com](http://www.taliongallery.com)